

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

特集1 在来種を脅かす近縁外来種の侵入
特集2 都市が里山に関わるということ

Volume 39
Number 1
June 2017



関西自然保護機構
Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

モリアオガエルの産卵風景

文 松井 正文

写真 菅原 隆博

梅雨の頃の風物詩となっているモリアオガエルの産卵行動では、1匹のメスに複数のオスが抱接する。これは他のカエルには見られないことで、泡状の卵巣の中では激的な精子間競争が起きている。

撮影地：滋賀県犬上郡多賀町桃原

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人々を幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONC はその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。